

'85 センチュリーラン〈北海道〉

今年度最後の大会を9月22日(日)に帯広で開催

先月号のニュースで予告しました今年度JCAが開催する最後のセンチュリーラン大会を、9月22日(日)に北海道帯広市郊外の音更町サイクリングターミナルをスタート・ゴールに行うことを決定いたしました。

会場の音更町サイクリングターミナルは、広大な十勝平野の中央を横断する十勝川のほとりにある十勝川温泉にあり、コースについてもきっと北海道の大自然を十分に満喫できると思います。

コースは次のとおりです。

音更町ターミナルスタート～池田町～豊頃町～浦幌町～留真～本別町～拓農～活込～芽登～東七線～新光～共豊～八千代～元昭和～相生～音更ターミナルがゴールの160km。

実施方法については、前2回の大会と変更はありませんが参加申し込み方法が昨年とは変わっておりますので注意して下さい。

今回の大会が今年度JCAが開催する最後のセンチュリーランとなりますので、多数ご参加下さい。

○大会名：'85センチュリーラン(北海道)

○協力：北海道サイクリング協会
十勝サイクリング協会

○期日：昭和60年9月22日(日) 雨天決行

○日程：
9月22日 7:00～8:00 受付・車検
8:00～8:20 開会式
8:30～ スタート

○参加資格：性別を問わず15才以上で、8時間以内に160kmを完走できる見

込みのあるもの。

○参加人員：定員200名

○参加料：会員2,000円 一般3,000円

※参加希望者が定員を越えた場合は、抽選となりますので申し込みを許可された方のみご送付下さい。

※申し込まれた参加料は、大会当日不参加の場合でも返却いたしません。

○参加申し込み：

毎回センチュリーランの参加申し込み者が定員を大幅に上回るため、今年度より参加希望者が定員を越えた場合は、JCA会員を優先し、参加者を抽選といたします。なお、抽選結果については後日各自宛に通知いたします。

参加希望者は、住所、氏名、年令、職業(学校名)、電話番号、(会員の方はさらに)所属支部協会名、会員番号をハガキに必ず記入の上、8月20日(必着)までにJCA「北海道センチュリーラン係」にお送り下さい。

○申し込みおよび問い合わせ

〒107 港区赤坂1-9-3 自転車会館内
(財)日本サイクリング協会
北海道センチュリーラン係

なお、今年度のJCAが開催するセンチュリーランはこれが最後となりますが、10月20日(日)に熊本県の阿蘇山においてマウンテン・タイム・トライアルを開催いたしますので、ぜひご参加下さい。(詳細については後日発表いたします。)

59年度 日自振等の補助事業の成果

JCAは、毎年日本自転車振興会と自転車業界から補助金と業界資金の交付を受け、サイクリングの普及推進事業を実施しているが、昭和59年度は日自振から公益事業振興費8,547万円、機械工業振興費から4,313万円の補助金と自転車業界から1,309万円、合計14,169万円をもって、サイクリング普及活動を行った結果、下記のような成果をあげることができた。

I. 公益振興関係事業

ア. 指導者の育成

①中央指導者講習会（新規指導者の養成）

1月25～27日 生産性研修会館 71名

②地方指導者講習会（リーダー養成と研修）

26道府県41地区で開催、1,754名が参加

イ. サイクリング教室の開催

29道府県72地区で開催、5,292名が参加

ウ. サイクリングラリーの開催

①全国ラリー

7月28～29日 群馬県 1,260名が参加

②ブロックラリー（7地区 3,707名が参加）

●北海道 8月4～5日 北見 502

●東北 8月25～26日 宮城 407

●関東甲信越 9月16～17日 山梨 485

●中部日本 9月15～16日 富山 528

●近畿 9月23～24日 兵庫 468

●中四国 10月13～14日 島根 455

●九州 11月3～4日 鹿児島 862

③都道府県ラリー（初心者の参加が多い）

37都道府県、46地区 10,283名が参加

エ. おはようサイクリングの開催

43都道府県、849会場で実施した結果、ファミリー層を中心にして延64万人が参加した。また、中央研修会を3月に開催した。

オ. ファミリーサイクリング大会の開催

5月の自転車月間の期間中に、自転車を通じて家族の健康、交通道徳の高揚を促進するため、19道県・20地区において開催した結果、6,734名の参加があった。

カ. サイクルスポーツ大会の開催

サイクリング愛好者のニーズに対応して、サイクリング人口の拡大とサイクルスポー

ツの普及推進のため、センチュリーラン大会を全国3地区、マウンテン・タイム・トライアル大会を1回開催した。

●関東地区 福島（浪江）～茨城（大洗）

10月7日 参加者 373名

●中部地区 福井（今庄）～石川（内灘）

9月9日 参加者 109名

●四国地区 愛媛（松山）～香川（坂出）

8月26日 参加者 203名

●マウンテン・タイム・トライアル

10月15日 富士山 参加者 136名

キ. 指導用教材の整備

●テキスト、パンフレット

2級リーダーテキスト（増刷）2,000部

楽しいサイクリング（増刷）15,000部

自転車の点検と整備（増刷）5,000部

全国④指導者名簿（改訂）6,000部

●会報（JCAニュース 毎月1回発行）

No.214～No.225号（各16,000部印刷）

●1,2級リーダーバッジ

●トランシーバー、拡声器購入

ク. 指導普及用自転車の購入

サイクリングの指導普及用として一定の仕様のサイクリング車135台を購入、8県協会に貸与した。またこれとは別に、日中青少年の交流を図るため高校生を主体としたサイクリング使節団を組織し、その使用自転車を購入、日程終了後中国に寄贈した。

II. 機械工業振興関係事業

ア. 自転車に対する利用者の意識調査

中学校および高等学校における自転車通学者の利用実態、校内駐輪施設の実態、また自転車の安全教育等の調査を実施した。

〈昭和60年度〉

全国月別会員証発行状況

JCAの寄附行為の改定変更認可申請が関係省庁の認可を受け、本年4月1日より施行されたことにもない、「賛助会員規定」「支部に関する規定」等が新設されました。とくに賛助会員制度の導入により、従来は「輪行制度」からみで会員制度に不明な点が生じていましたが、4月1日からは正式にJCA会員として本部に登録されるようになりました。

下記の表は、4月1日より5月末日までの全国各支部での会員証発行状況です。

県名	4月		5月	
	当月計	累計	当月計	累計
北海道				
青森			57	57
秋田			17	38
山形	21	21		
岩手				
宮城	37	37	123	160
福島	16	16	8	24
群馬	171	171		171
栃木				
茨城				
埼玉			37	37
千葉	187	187	20	207
東京都				
神奈川県				
山梨				
長野				
新潟			17	125
静岡県	108	108	200	200
愛知県			36	36
岐阜				
三重				
富山				
石川	28	28	43	71
福井	28	28	18	46
滋賀	113	113	103	216
大阪				
奈良				
和歌山	93	93	17	110
兵庫県			276	276
岡山				
広島				
山口			104	104
鳥取				
島根	62	62	189	251

香徳愛高福佐長熊大宮鹿			100	100
川島媛知岡賀崎本分崎島			111	111
	48	48	17	65
			30	30
計	912	912	1,523	2,435

サイクリングの普及活動に期待

JCAリーダー1名・普及指導者44名が誕生

昭和60年4月1日付をもって、新しくJCA指導者資格を取得したJCAリーダー（1名）、普及指導者（44名）は次のとおりである。

これらの人達は、59年度の中央指導者講習会で所定のカリキュラムを修了し、JCA検定委員会の審査に合格、登録手続きを完了した方々で、今後各地においてサイクリング普及のため大いに活躍が期待される。

● JCAリーダー

〔和歌山〕 杉本 茂

● 普及指導者

〔青森〕 木下邦雄・戸館正幸・小川隆〔秋田〕 工藤保・武石茂信・阿部純一〔岩手〕 小田島勝・村松敏勝〔福島〕 倉田隆・野地道夫〔群馬〕 川岸義一・牧本広〔栃木〕 柳孝市・武井義夫・高橋孝夫〔茨城〕 青山俊士〔千葉〕 岡田正克〔長野〕 山本久夫・太田義治〔岐阜〕 岩井利美・中島隆〔三重〕 川島菊雄・鈴村金寿〔石川〕 増田弘〔福井〕 藤田幸治・村田治〔大阪〕 向井義治〔奈良〕 金川正雄・金川敏子・坪田真幸〔兵庫〕 日下雅裕〔広島〕 兼則繁樹〔山口〕 阿部勝・藤重勇〔香川〕 白杵和弘・堀家勅〔高知〕 山根由紀子・田所土佐男・中村一雄〔福岡〕 梅野純夫・三戸純一・中尾那智代・松尾廣美〔佐賀〕 益田勅弘・渡辺清隆〔長崎〕 谷口賢次〔熊本〕 熊谷正純・吉田正範・香下貴志夫〔大分〕 原田國正・植山徳明〔宮崎〕 古賀淳次・矢野泰弘

第1回五島サマーサイクリング大会

青い海に開かれた五島列島で7月に開催

西海国立公園指定30周年を記念して、五島サマーサイクリング実行委員会の主催による第1回五島サマー・健康サイクリングが、7月27日(土)～28日(日)に青い海にかこまれた五島列島で開催されます。

水の浦教会、鬼岳、大瀬崎灯台など風物豊かな五島の地に集い、ぜひ自然を満喫していただきたいと思いますので、参加希望者は下記のと長崎県サイクリング協会にご連絡下さい。

期日：昭和60年7月27～28日 雨天決行

費用：長崎港よりの参加者（1泊2日）

大人 11,000円 中・高生 10,000円

小人（小学生）8,800円

コース：一般コース（30km）

健脚コース（82km）

参加資格：健康な小学生以上の男女。小学生の参加の場合は、保護者同伴。

問い合わせ：

〒852 長崎市宝栄町23-6

長崎県サイクリング協会

TEL 0958-61-5522

タイ・サイクリングツアー

バンコック・チェンマイ・パタヤ6日間

ジャパン・サンライズ・ワールドサイクリング委員会の企画でJCA後援のタイ・サイクリングツアー（5泊6日）が11月に行われます。

バンコック、チェンマイ、パタヤをまわる6日間のサイクリングツアーにぜひご参加下さい。観光バスが随行しますのでサイクリングをしない方でも参加できます。

期間：11月20日～25日（6日間）

費用：168,000円

締切：8月末日

日程：

11月20日 成田（12:50）～バンコック

11月21日 専用バスにてバンコック市内観

光（水上マーケット、エメラルド寺院、王宮など）

空路チェンマイへ

11月22日 チェンマイ市内観光、ドオイステープ寺、プーピン離宮、山岳民族メオ族部落観光などサイクリング

11月23日 チェンマイより空路バンコックへ、着後バスにてパタヤへ

11月24日 コラン島観光、午後は自由行動、海水浴、サイクリングなど

11月25日 パタヤ～バンコックまでバス、バンコック（13:00）～成田

申し込み・問い合わせは下記へ

近畿日本ツーリスト浦和営業所

埼玉県浦和市高砂2-11-13

TEL 0488-22-3631担当（太田・河合）

日本縦断4千キロ

72才のサイクリストが挑戦し完走！

毎日新聞6月12日の雑記帳という欄に次のような自転車による日本縦断の記事がのっていました。

◇沖縄の那覇市を4月25日に出発してから48日目、自転車で日本縦断4千キロを走り続けた東京北区桐ヶ丘、無職、村山英二さん（72才）が6月11日午後1時、最北端の北海道稚内市の宗谷岬にゴール。

高血圧で1日60本のタバコをやめたところ、今度は太り過ぎて両ヒザの関節炎に悩まされ、自転車で健康を回復したことから、今度は「体力の限界に挑戦」と計画した。

1日100キロのペース。登りの向かい風は「死ぬほど苦しかった」シトラックの風圧で路外に飛ばされたことも。しかし道中で受けた親切は忘れられないといい「新たな目標に挑戦する」と、老人パワーは意気盛ん。

以上のような内容ですが、当協会のセンチュリーランなどにも熟年サイクリストの参加が増えており、今後ますますこうした挑戦が増えていくかも。